

平成 30 年度 新規採択時評価の実施状況

(砂防課)

事業名	箇所・地区名等	所在市町	事業費 (百万円)	費用対効果	備考
急傾斜地崩壊対策事業	西本郷	下田市	102	4.12	
急傾斜地崩壊対策事業	寺の脇	賀茂郡松崎町	138	1.62	
急傾斜地崩壊対策事業	壩之上 A	伊豆の国市	190	2.16	
急傾斜地崩壊対策事業	青羽根岩下 B	伊豆市	150	2.24	
急傾斜地崩壊対策事業	行田山	伊豆市	260	5.27	
急傾斜地崩壊対策事業	出本	島田市	172	2.5	
急傾斜地崩壊対策事業	大沢寺	藤枝市	250	1.28	
急傾斜地崩壊対策事業	下落合	浜松市	170	4.41	

平成 30 年度 新規事業箇所調書

(砂防課)

事業名	急傾斜地崩壊対策事業		
河川・路線・施設名等	西本郷	所在市町	下田市
事業費	102 百万円	事業期間	H30 ~ H34

事業概要、目的

西本郷地区は、下田市の市街地に位置し、保全対象として人家 23 戸のほか市道区画街路 7 号線を含む急傾斜地である。

集中豪雨等により斜面崩壊が発生した場合には、住民等の生命または身体に危害が生じるおそれがあるため、平成 30 年度より事業着手し、防止施設の整備を進めていく。

費用対効果 (B/C)	4.12	総費用	89	総便益	367	基準年	H30
-------------	------	-----	----	-----	-----	-----	-----

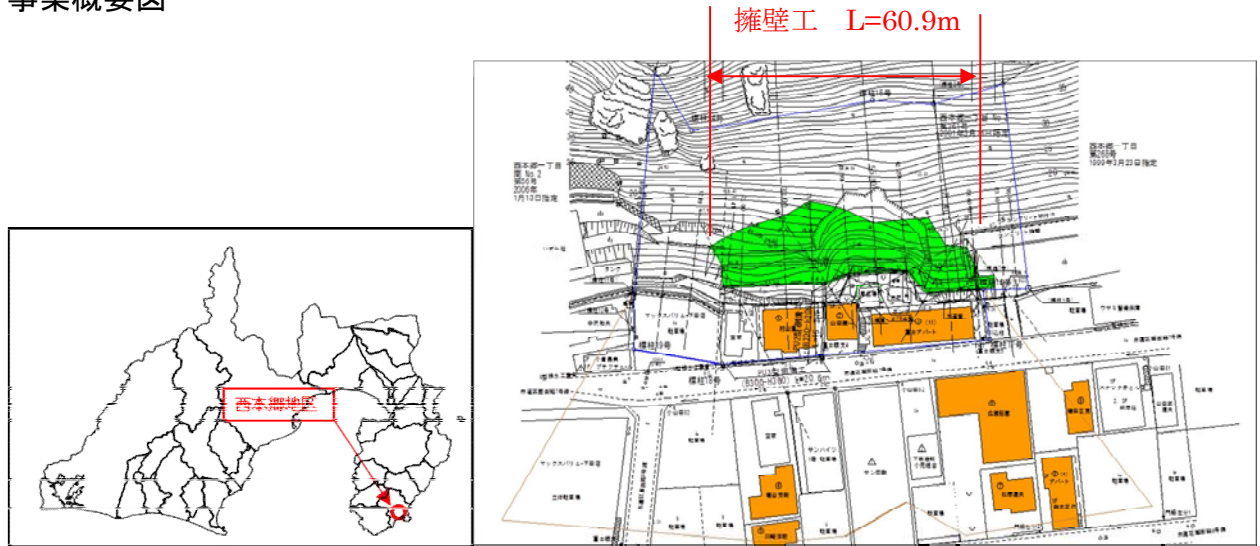
費用対効果分析の手法

「急傾斜地崩壊対策事業の費用便益分析マニュアル (案)」(平成 11 年 8 月)による。

評価指標、項目

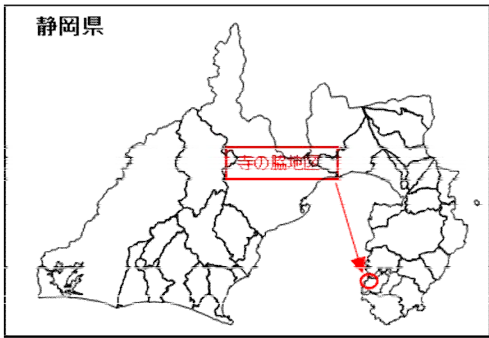
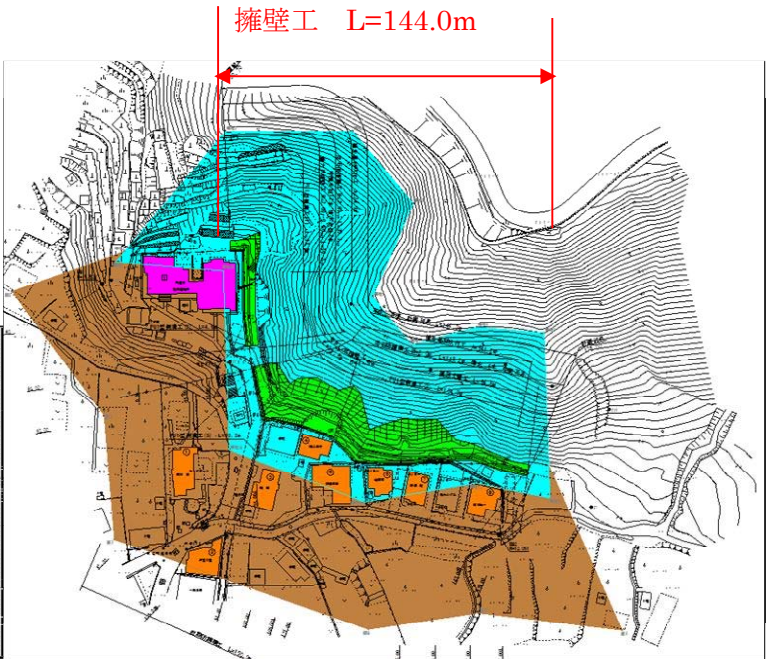
- <災害発生時の影響> 人家 23 戸、市道に被害を及ぼす恐れがある。
- <災害発生の危険度> 保全対象と斜面形状、崩壊の危険性の調査結果により、斜面の荒廃が進行し災害発生の危険性が高い。

事業概要図



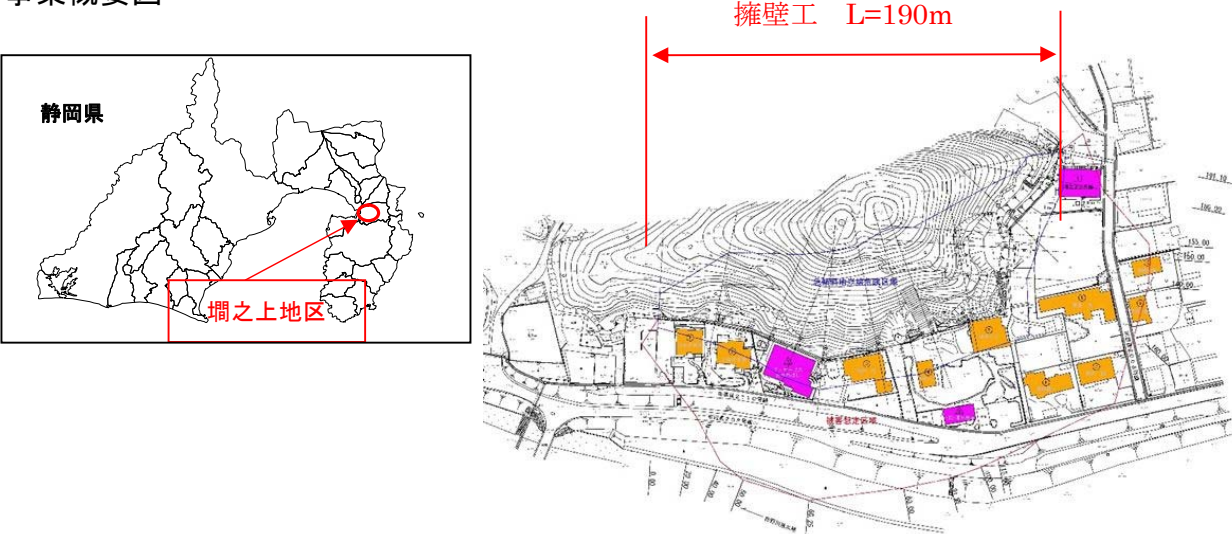
平成 30 年度 新規事業箇所調書

(砂防課)

事業名	急傾斜地崩壊対策事業						
河川・路線・施設名等	寺の脇			所在市町	賀茂郡松崎町		
事業費	138 百万円			事業期間	H30 ~ H34		
事業概要、目的							
<p>寺の脇地区は、松崎町の西部地区に位置し、保全対象として人家 8 戸、避難地である円通寺及び町道円通寺線を含む急傾斜地である。</p> <p>集中豪雨等により斜面崩壊が発生した場合には、住民等の生命または身体に危害が生じるおそれがあるため、平成 30 年度より事業着手し、防止施設の整備を進めていく。</p>							
費用対効果 (B/C)	1.62	総費用	145	総便益	235	基準年	H30
費用対効果分析の手法							
「急傾斜地崩壊対策事業の費用便益分析マニュアル (案)」(平成 11 年 8 月) による。							
評価指標、項目							
<災害発生時の影響>		人家 8 戸、避難地である円通寺に被害を及ぼす恐れがある。					
<災害発生の危険度>		保全対象と斜面形状、崩壊の危険性の調査結果により、斜面の荒廃が進行し災害発生の危険性が高い。					
事業概要図							
 <p>静岡県</p>							

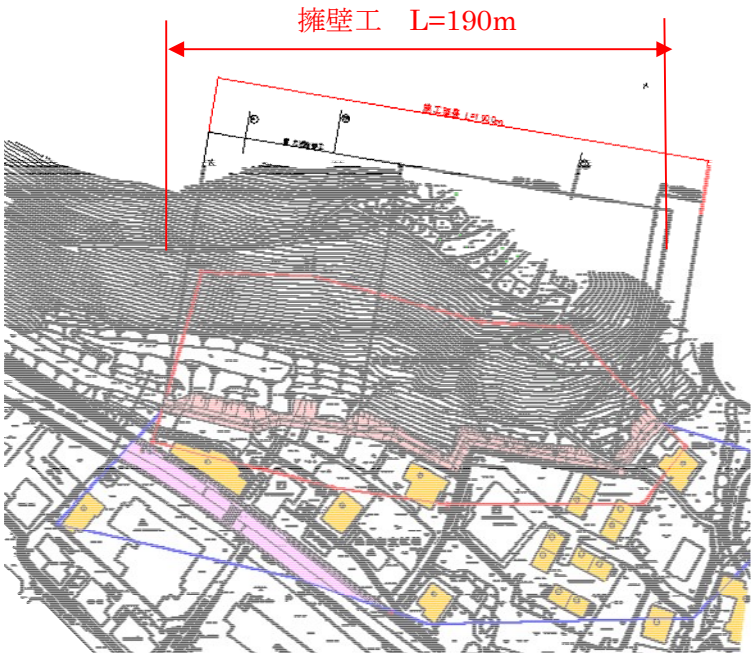
平成 30 年度 新規事業箇所調書

(砂防課)

事業名	急傾斜地崩壊対策事業		
河川・路線・施設名等	壺之上A	所在市町	伊豆の国市
事業費	190 百万円	事業期間	H30 ~ H34
事業概要、目的			
<p>壺之上地区は、静岡県伊豆の国市壺之上に位置し、保全対象として人家10戸、公民館（避難所）及び二級市道長208号線を含む急傾斜地である。</p> <p>集中豪雨等により斜面崩壊が発生した場合には、住民等の生命または身体に危害が生じるおそれがあるため、平成30年度より事業着手し、防止施設の整備を進めていく。</p>			
費用対効果(B/C)	2.16	総費用	136
		総便益	294
		基準年	H30
費用対効果分析の手法			
「急傾斜地崩壊対策事業の費用便益分析マニュアル（案）」（平成11年8月）による。			
評価指標、項目			
<p><災害発生時の影響> 人家10戸、公民館、市道に被害を及ぼす恐れがある。</p> <p><災害発生の危険度> 保全対象と斜面形状、崩壊の危険性の調査結果により、斜面の荒廃が進行し災害発生の危険性が高い。</p>			
事業概要図			
			

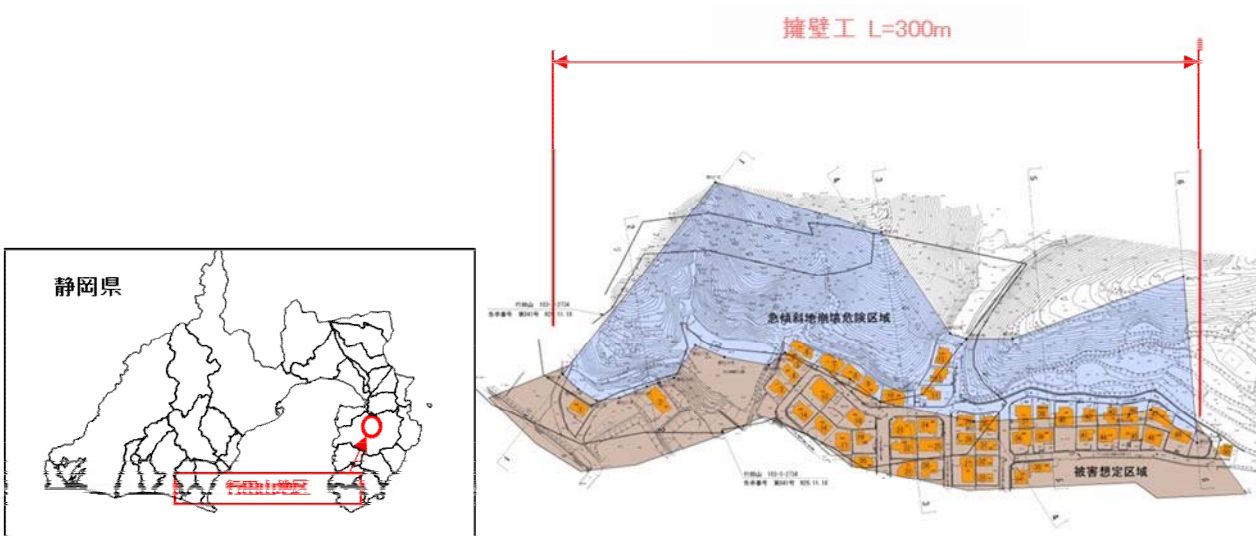
平成 30 年度 新規事業箇所調書

(砂防課)

事業名	急傾斜地崩壊対策事業						
河川・路線・施設名等	青羽根岩下 B			所在市町	伊豆市		
事業費	150 百万円			事業期間	H30 ~ H34		
事業概要、目的							
<p>青羽根岩下地区は、静岡県伊豆市中央部に位置し、保全対象として人家 17 戸のほか、青羽根公民館、第 1 次緊急輸送路である国道 136 号を含む急傾斜地である。</p> <p>集中豪雨等により斜面崩壊が発生した場合には、住民等の生命または身体に危害が生じるおそれがあるため、平成 30 年度より事業着手し、防止施設の整備を進めていく。</p>							
費用対効果 (B/C)	2.24	総費用	119	総便益	266	基準年	H30
費用対効果分析の手法							
「急傾斜地崩壊対策事業の費用便益分析マニュアル (案)」(平成 11 年 8 月) による。							
評価指標、項目							
<p><災害発生時の影響> 人家 17 戸、公民館、国道に被害を及ぼす恐れがある。</p> <p><災害発生の危険度> 保全対象と斜面形状、崩壊の危険性の調査結果により、斜面の荒廃が進行し災害発生の危険性が高い。</p>							
事業概要図							
 <p>静岡県</p> <p>青羽根岩下地区</p>		 <p>擁壁工 L=190m</p> <p>斜面長さ L=115.5m</p>					

平成 30 年度 新規事業箇所調書

(砂防課)

事業名	急傾斜地崩壊対策事業						
河川・路線・施設名等	行田山			所在市町	伊豆市		
事業費	260 百万円			事業期間	H30 ~ H34		
<p>事業概要、目的</p> <p>行田山地区は、静岡県伊豆市中心部に位置し、保全対象として人家 49 戸を含む急傾斜地である。</p> <p>集中豪雨等により斜面崩壊が発生した場合には、住民等の生命または身体に危害が生じるおそれがあるため、平成 30 年度より事業着手し、防止施設の整備を進めていく。</p>							
費用対効果 (B/C)	5.27	総費用	238	総便益	1255	基準年	H28
<p>費用対効果分析の手法</p> <p>「急傾斜地崩壊対策事業の費用便益分析マニュアル (案)」(平成 11 年 8 月) による。</p>							
<p>評価指標、項目</p> <p><災害発生時の影響> 人家 49 戸に被害を及ぼす恐れがある。</p> <p><災害発生の危険度> 保全対象と斜面形状、崩壊の危険性の調査結果により、斜面の荒廃が進行し災害発生の危険性が高い。</p>							
<p>事業概要図</p>  <p>図は、左側に静岡県の位置を示す地図、右側に地形図と区域図を示す。地形図には「急傾斜地崩壊危険区域」が青で、「被害想定区域」がオレンジで示されている。また、赤い二重線が「擁壁工 L=300m」の範囲を示している。</p>							

平成 30 年度 新規事業箇所調書

(砂防課)

事業名	急傾斜地崩壊対策事業		
河川・路線・施設名等	出本	所在市町	島田市
事業費	172 百万円	事業期間	H30 ~ H34
事業概要、目的			
<p>出本地区は、静岡県島田市北部の（一）笹間川右岸側に位置し、保全対象として人家 10 戸、主要地方道藤枝天竜線を含む急傾斜地である。</p> <p>集中豪雨等により斜面崩壊が発生した場合には、住民等の生命または身体に危害が生じるおそれがあるため、平成 30 年度より事業着手し、防止施設の整備を進めていく。</p>			
費用対効果 (B/C)	2.50	総費用	160
		総便益	400
		基準年	H28
費用対効果分析の手法			
「急傾斜地崩壊対策事業の費用便益分析マニュアル（案）」（平成 11 年 8 月）による。			
評価指標、項目			
<p><災害発生時の影響> 人家 10 戸、集会所に被害を及ぼす恐れがある。</p> <p><災害発生の危険度> 保全対象と斜面形状、崩壊の危険性の調査結果により、斜面の荒廃が進行し災害発生の危険性が高い。</p>			
事業概要図			
<p>事業概要図は、島田市川根町笹間上地区の急傾斜地崩壊対策事業の概要を示しています。図には、擁壁工の長さ L=368m が示されています。また、静岡県地図には、出本地区の位置が示されています。</p> <p>平面図 (島田市 川根町笹間上 S=1:500) の詳細は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 図面タイトル: 平面図 島田市 川根町笹間上 S=1:500 凡例: <ul style="list-style-type: none"> 調査ポイントおよび標準貫入試験 標準貫入試験 図面内容: 地形図、道路、河川、調査ポイント、標準貫入試験ポイント、擁壁工の位置などが示されています。 			

平成 30 年度 新規事業箇所調書

(砂防課)

事業名	急傾斜地崩壊対策事業						
河川・路線・施設名等	大沢寺			所在市町	藤枝市		
事業費	250 百万円			事業期間	H30 ~ H34		
事業概要、目的							
<p>大沢寺地区は、静岡県藤枝市西方地区に位置し、保全対象として人家 12 戸を含む急傾斜地である。</p> <p>集中豪雨等により斜面崩壊が発生した場合には、住民等の生命または身体に危害が生じるおそれがあるため、平成 30 年度より事業着手し、防止施設の整備を進めていく。</p>							
費用対効果 (B/C)	1.28	総費用	230	総便益	294	基準年	H28
費用対効果分析の手法							
「急傾斜地崩壊対策事業の費用便益分析マニュアル (案)」(平成 11 年 8 月) による。							
評価指標、項目							
<p><災害発生時の影響> 人家 12 戸に被害を及ぼす恐れがある。</p> <p><災害発生の危険度> 保全対象と斜面形状、崩壊の危険性の調査結果により、斜面の荒廃が進行し災害発生の危険性が高い。</p>							
事業概要図							

平成 30 年度 新規事業箇所調書

(砂防課)

事業名	急傾斜地崩壊対策事業						
河川・路線・施設名等	下落合			所在市町	浜松市		
事業費	170 百万円			事業期間	H30 ~ H34		
事業概要、目的							
<p>下落合地区は、静岡県浜松市天竜区に位置し、保全対象として人家 17 戸、主要地方道天竜東栄線を含む急傾斜地である。</p> <p>集中豪雨等により斜面崩壊が発生した場合には、住民等の生命または身体に危害が生じるおそれがあるため、平成 30 年度より事業着手し、防止施設の整備を進めていく。</p>							
費用対効果 (B/C)	4.41	総費用	149	総便益	657	基準年	H28
費用対効果分析の手法							
「急傾斜地崩壊対策事業の費用便益分析マニュアル (案)」(平成 11 年 8 月) による。							
評価指標、項目							
<p><災害発生時の影響> 人家 17 戸、主要地方道天竜東栄線に被害を及ぼす恐れがある。</p> <p><災害発生の危険度> 保全対象と斜面形状、崩壊の危険性の調査結果により、斜面の荒廃が進行し災害発生の危険性が高い。</p>							
事業概要図							
<p>擁壁工 L=210m</p> <p>下落合地区</p>							